

自信と安心感をもって、小学校生活をむかえるために

# 小学校生活を支える 基礎的な力を育もう

- ① 決められた時間内は、椅子に座ってしっかり話を聞く
- ② 自分の思ったことや困ったことを、自分から友達や先生に相談したり、話したりする
- ③ 順番など、集団活動でのきまりを守る
- ④ 自分の身近にいる学校内外の人々と、挨拶などを通して関わる
- ⑤ 持ち物の整理や着替えなど、自分のことは自分でする
- ⑥ チャイムや時計を意識し、時間割にあわせて見通しをもって行動する
- ⑦ 食事のマナーを守り、好き嫌いなく友達と楽しく食べる

〔和歌山県幼児教育推進計画〕小学校入学後の姿をイメージした「育てたい具体的な子供の姿」より

幼児教育施設から小学校に入学すると、これまでの生活との違いから、小学校に対する期待と同時に不安や戸惑いを感じる子供も少なくありません。そのようなことから、自信と安心感をもって小学校生活を送るためには、幼児期の教育で人やものに関わりながら工夫して遊ぶことを通して、好奇心や探究心をもつことや主体的な生活態度の基礎を培い、小学校教育につなぐ必要があります。

「小学校生活を支える基礎的な力」は、小学校就学後の子供たちの生活面での課題をもとに、主体的な生活を育むことに焦点を絞り、滑らかな接続を図るための保育について示しました。主体的な生活態度とは、自分なりに豊かな生活をつくっていかこうとする姿です。幼児期の教育では、小学校の先取りや準備のためでなく、幼児期にふさわしい方法で、子供自身が気づき、自ら進んでできるよう工夫することが大切です。また、生活習慣は、園・所だけで身に付けられるものではありません。家庭とも連携しながら、子供たちの成長を支えましょう。



# 1

## 決められた時間内は、 椅子に座ってしっかり話を聞く

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- 教室では一人一人の机と椅子があり、授業中、椅子に座って話を聞く機会が多くなる
- 先生や友達の話を書くときは、「話し手の方を見て聞く」「最後まできちんと聞く」等、話を聞くルールを守る
- 先生や友達の話を書いて、内容を理解する



### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

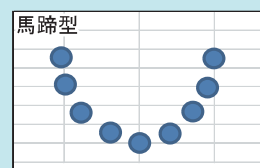
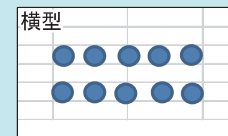
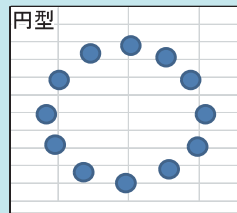
#### <座って話を聞くことに関する様々な体験を重ねよう>

##### 保育のポイント

- 「クラスの集まり」や「活動の振り返り」など、みんなで一つのまとまった話を聞く機会をもち、聞くことの楽しさを味わえるようにする
- 友達の話を書く中で、保育者が共感したり認めたりすることにより、その考えのよさに触れ、話を聞くことの大切さが実感できるような関わりをする
- 読み聞かせ等で、夢中になりお話を見たり聞いたりする楽しさを味わえるようにする
- みんなで一緒に話を聞く場面では、落ち着いた雰囲気づくりをする
- 話をしている人の方に身体を向けて聞くことや、話を最後まで聞くことを促す
- 保育者が話をするときは、分かりやすく丁寧に話すようにこころがける

##### 【保育の場面】

- ◆ 朝や帰りのクラスでの集まりで話を聞く
- ◆ 活動の振り返りで友達の考えや思いを聞く
- ◆ 遊びや活動で招いた地域の人の話を聞く
- ◆ 絵本の読み聞かせ
- ◆ 保育者の話を聞く



座って話を聞くときには、活動により円型や馬蹄型など、机や椅子の配置を工夫する

## 2

# 自分の思ったことや困ったことを、 自分から友達や先生に相談したり、話したりする

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- 自分の思いや考えを聞き手に分かるように話す
- 困ったときや相談したいときなど、自分から先生や友達に伝える
- 友達が話しているときには、最後まで聞いてから自分の話をする



### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

**< 考えたことやしてほしいことを話す、分からないことを尋ねるなど、  
自分なりの言葉で表現しようとする意欲を育てよう >**

#### 保育のポイント

- 「クラスの集まり」等で、自分の経験したことや考えたことなど、自由に言葉で表現できる雰囲気をつくる
- 友達の考えや思いに共感して言葉で応答する等、言葉のやり取りを楽しむ中で、自分の気持ちを表現する楽しさに気付けるようにする
- 集団生活の中で、友達との関わりを通して、聞き手に分かる言葉で伝えることの大切さを知らせるとともに、分かりやすく話せたときには、認める声かけをする
- 子供の話を引き出す声かけをする

#### 【保育の場面】

- ◆ 朝や帰りのクラスでの集まりで話をする
- ◆ 活動の振り返りで自分の考えや思いを話す
- ◆ 生活の中で困ったときに自分の思いを伝える



活動の振り返り

### 3 順番など、集団活動でのきまりを守る

#### ■ 小学校生活での具体的な姿

- 学習中や休憩時等，学級や学校のきまりを守って生活する
- してよいことと悪いことを判断し，自分で考えて行動する
- 自分だけでなく友達の気持ちも考えて行動する
- 交通ルールを守り，安全に気を付けて通学路を歩いて登下校する



#### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

**< 保育者との信頼関係を基盤に、楽しく集団生活をする中で、きまりの大切さに気付かせよう >**

##### 保育のポイント

- きまりやルールを守らないとどのようなことが起こるのか，守っている子はどのような気持ちになるのか等，楽しく集団生活をする中で，きまりの大切さに気付けるような関わりをする
- ルールを守ると友達との遊びが楽しくなるという実感がもてるようにするとともに，自分たちでルールをつくったり作りかえたりする体験を大切にする
- 遊びや生活の中で，互いに気持ちを伝え認め合えるよう保育者が仲介し，自分の気持ちに折り合いをつけようとする姿を見守る
- チームに分かれて楽しむ遊びや勝敗のある遊びを通して，負けて悔しい，勝ってうれしいなど，様々な感情を味わう体験も大切にする
- 散歩や園外保育の機会を通して，横断歩道など安全な歩き方を身に付けられるようにする

##### 【保育の場面】

- ◆ 鬼ごっこやボール遊びなど，ルールのある遊びをする場面
- ◆ 遊びや生活の中で，自分と異なる考えに出会った場面
- ◆ 生活の中で順番を守る 等



## 4

## 自分の身近にいる学校内外の人々と、挨拶などを通して関わる

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- ・ クラスの友達だけでなく、他のクラスや異学年の友達と関わる
- ・ 担任だけでなく、学校に勤務する様々な職員（他学年の先生 養護教諭 給食調理員 事務員等）と関わる
- ・ 登下校で出会う人や学校行事のゲストティーチャー等、地域の様々な人々と関わる
- ・ 自分から進んで挨拶や声かけをする



### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

#### <園・所内や地域の身近な人々と

#### 挨拶したり触れ合ったりする体験を重ねよう>

##### 保育のポイント

- 地域の行事への参加、公共施設やお店の利用等、社会とのつながりを意識する活動を行い、地域の人・もの・こととの関わりを豊かにする
- 身近な人々と挨拶したり触れ合ったりする体験を通して、人の温かさを感じ、自ら人と関わろうとする態度を育てる
- 保育者がモデルとなり、登園・降園時に、挨拶の言葉をかけたり、応えたり、日々の生活の中で挨拶を交わす心地良さに気付けるようにする
- 日々の生活の中で相手や時と場に応じた挨拶の仕方について考える機会をもつ

朝の挨拶「おはよう」 帰りの挨拶「さようなら」 返事「はい」  
感謝やお礼の気持ちを伝える「ありがとう」  
相手のことを心配したり、元気になったことを喜んだりすること  
部屋に入る時の挨拶 など

##### 【保育の場面】

- ◆ 異年齢、小学生、地域の人々との交流活動
- ◆ 友達との関わりの中で交わす様々な挨拶や声かけ
- ◆ 登園・降園時に友達や園・所の職員に対する挨拶



# 5

## 持ち物の整理や着替えなど、 自分のことは自分です

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- お道具箱やロッカーなど、決められた収納場所に、学用品、体操服や上履き等、自分で自分の持ち物を管理し、整理整頓をする
- 体操服や給食エプロンなど、限られた時間で着替え、机や椅子の上に置いて置く
- 雨の日に傘をさして登校し、登校後、傘を畳み傘置き場に置く
- ハンカチやティッシュを服のポケット等に入れて使う
- うがい・手洗い等、自分の健康を守る習慣をつける



### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

#### < 自分の身の回りのことを自分でしようとする態度を育てよう >

##### 保育のポイント

- 登園後にすることや持ち物の片付け場所がよく分かるように、絵や文字等で示す
- 自分のことは自分でしようとする気持ちが育つよう、達成感を味わい、自信がもてる関わりをする
- 子供の動線に配慮し、道具の片付け場所や手洗場など、園・所の環境に配慮する
- 健康に関する話や絵本の読み聞かせ等を通して、健康に関心がもてるようにする



##### 【保育の場面】

- ◆ 自分の持ち物の片付け
- ◆ 遊びの後の片付け 遊具や道具の整頓
- ◆ 給食の準備や片付け
- ◆ 健康な身体のためのうがい・手洗い 衣服の着脱 等



遊び道具の片づけ場所

##### 【家庭への働きかけ】

基本的な生活習慣が身に付くよう、子供のすることを見守りながら、一人一人の子供の小さな成長を見逃さず、できたことをほめ、認めることをこころがけましょう。また、自分でできるようになったことを保護者に伝えることも、子供にとっては大きな励みとなります。



# 6

## チャイムや時計を意識し、 時間割にあわせて見通しをもって行動する

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- 1単位時間が45分間、時間割にそって、教科等の学習をする（入学当初は弾力的な時間割）
- チャイムや時計を意識し、学習、休憩、給食等の区切りをつけて生活する
- 休憩時に、用便や体操服の着替えを行い、次の学習の準備をする

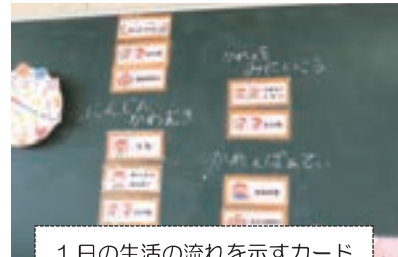


### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

#### <遊びや活動に見通しをもち、自ら行動しようとする意欲を育てよう>

##### 保育のポイント

- 1日の生活の流れが分かるように、文字や図、写真などを用いて視覚化し、子供たちが自ら行動する助けとする
- 時計や時計の模型を活用し、活動の区切りを意識し見通しをもてるようにする
- 時計等を見て、遊びの終わりに気づき、互いに声をかけ合えるようにする
- 1日の終わりに翌日の活動について話し合う場をもち、翌日することに見通しや期待をもち、活動がつながるようにする
- 十分に遊んだ満足感をもって、次の活動への期待感を生み出せるようにする



1日の生活の流れを示すカード



##### 【家庭への働きかけ】

「早寝・早起き・朝ごはん」で、小学校生活に向け、生活リズムを整えること（小学校は8時ごろ登校）について、保護者に協力を得ましょう。また、和式トイレを使う機会を設けることについても、保護者に伝えましょう。

# 7

## 食事のマナーを守り、 好き嫌いなく友達と楽しく食べる

### ■ 小学校生活での具体的な姿

- ・ 給食中のマナー（お箸の使い方、食べられる量を考えて口に入れる、適度な会話を楽しんで食べる等）に気を付けて食べる
- ・ 様々な献立の給食を、好き嫌いなく30分程度で食べる
- ・ 自分の食べられる量を配膳してもらい、残さず食べる
- ・ 給食の準備や片付けは、給食当番の活動として自分たちで行う



### ■ 小学校生活を支える基礎的な力を育む保育

#### < 食べることの楽しさや喜びに気付く環境づくりをしよう >

##### 保育のポイント

- 十分に遊び、空腹を感じ、食べることの楽しさや喜びに気付く関わりをする
- 栽培・収穫・簡単な調理等を通して、食べ物や栄養に関心をもてるようにする
- 体に必要な栄養をとるために、食べることの大切さを知らせる
- 食事中的マナー（お箸の使い方等）を大切に育てる態度を育てる
- 自分で食べられる量を考え、選べるよう配慮する
- 給食の終了時刻を考え、一定の時間内で食べられるよう援助する
- 当番活動などで、簡単な配膳を経験する機会をもつ



#### 【家庭への働きかけ】

朝ごはんをしっかりとることや、苦手なものも食べられるよう、調理の工夫等について、機会をとらえ保護者に伝えるとともに、昼食がお弁当の場合は、好きなものだけでなく、栄養のバランスを考えたものにするよう協力を得ましょう。